武蔵野美術大学

プレスリリース

2025 年 6 月 23 日

報道関係各位

【武蔵野美術大学】工芸工業デザイン学科
木工研究室 4 年生による展示販売「ONE WEEK」を市ヶ谷キャンパスで開催！

武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科（所在地：東京都小平市／主任教授：山中一宏）は MUJIcom 武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパスにて、2025 年 6 月 25 日（水）～28 日（土）までの 4 日間、木工研究室 4 年生の作品の POP UP STORE「ONE WEEK」を開催します。

これまでの大学学業の 3 年間で習得・経験してきた木工技術を活かし、アイデアを考え、アイデアをカタチにし、作品にどのような社会性を持たせることができるかを考案・実施するプロジェクトです。今回で 4 年目となるこのプロジェクトは前年度と同様にオンラインショップと、本学市ヶ谷キャンパス 1 階の MUJI com にて展示販売を行います。
参加学生は、約 3 ヶ月掛けてプロジェクトを遂行し、前半は制作、後半は販売を目的としてきました。
前半の制作では、1 週間で 1 アイテムをいかに効率良く制作できるかということを踏まえて、アイデア考察→生産方法→生産体制を構築していきました。
後半の販売では、今回のポップアップストアの展開から、EC サイトというプラットフォームを構築し、学外へ自分の作品を伝える方法を考えました。

そのために必要な、生産管理、受注方法、発送方法などを考えつつ、作品の量産を続けることを実践するプロジェクトです。

武蔵野美術大学

【展示作品について】

今回の展示では、15 名の学生が家具からファッション小物、カトラリーなど、様々な木のプロダクトを提案します。木の温もりと学生ならではのアイデアをぜひお楽しみください。

ジャバラの小物入れ

木製の家具に使われるジャバラの扉を小さく、
使いやすくした小物入れ。

Shapes Lamp

積み木から着想を得てデザインされたデスクライト。
ヘッド部分は 2 種類の照射角を切り替え可能。

book stand

デスク周りを美しく整える、シンプルで機能的なブックエンド。

Maki canister

「薪」を割った形から着想を得た木製キャニスター。

KASANEST

木組の技法を用いて組まれた、
空間に馴染む傘が帰る“巣”のような傘立て。

カクシダケ

大量生産による機能性重視のプロダクトとは反対に、木製ネジのトレイを回して閉じるという非生産的な行為によって機能が成り立つコンテイナー。

miro.

鍵、アクセサリー、香水、リップ。
この鏡のフレームにまとめてすっきり！
気持ちもゆったり！今日も行ってらしゃい！

tronc stool

「Tronc」はフランス語で木の幹の意味。素朴でアイコニックな形が空間に癒しをもたらすノックダウン式スツール。

ply clock

成形合板の軽やかな壁掛け時計。
装飾が主張しすぎず、それでいて暮らしの中でふと目を惹く。

Hang, Clip, Place

やわらかな曲線の壁掛けオブジェクト。
掛ける、挟む、置くという機能を持ちながら、用いられない時もインテリアとして楽しめる。

ヒノキうちわ

全て国産ヒノキ製。紙のように薄く透ける質感や柄、香りを楽しめる。

武蔵野美術大学

woo bouquet

花束をほどくとき、少し寂しくてどこかもったいない。そんな気持ちから生まれた花器。

中にはガラスの器が入っている。

平匙（大、中、小）

ブナ材に呂色漆を使って、拭き漆という技法で仕上げた。

shift box

畳の構造の柔軟性から着想を得たモジュール家具。

色の濃淡や木目もが家具の変化の可能性を語る。

【開催概要】

■タイトル：「ONE WEEK」

■会期：2025年6月25日（水）～28日（土）

■会場：MUJIcom武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス

〒1620843 東京都新宿区市谷田町1-4 武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス1F

■時間：10:00-20:00

■アクセス：東京メトロ有楽町線・南北線「市ケ谷」駅、都営新宿線「市ヶ谷」駅4番出口下車徒歩3分

*ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

■出展者：武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科クラフトデザインコース木工専攻4年生

■webサイト　：https://mauwoodwork.theshop.jp/

■Instagram：https://www.instagram.com/mauwoodwork/

MAUWOODWORK

〈本件に関するお問い合わせ先〉

武蔵野美術大学　工芸工業デザイン学科

koude@musabi.ac.jp